

第 104 回日本陸上競技選手権大会

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は 2020 年度日本陸上競技連盟規則・競技会における広告及び展示物に関する規程、WA 規則第 143 条 TR5：シューズに関するルール再改訂部分及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

2 新型コロナウイルスの感染拡大防止について

- (1) メイン競技場正面玄関付近で、非接触での検温を実施する。選手及びコーチなどチーム関係者は毎日正面玄関で検温を受けること。
- (2) 当日検温で 37.5℃以上の場合、参加を認めない場合がある。大会 3 日前から当日の間に新型コロナウイルス感染の疑いの症状がある場合は参加を認めない。
- (3) 来場にあたっては、マスク・タオルを持参し、運動時を除いては原則としてマスクを着用すること。
- (4) 休憩待機所、練習場・招集等については競技役員の指示に従い、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- (5) 飛沫拡散を防ぐ為、声を出しての応援、集団での応援や大声・近距離での会話を避けること。
- (6) 競技会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者（日本陸上競技連盟）に報告すること。

3 招集について

- (1) 招集所はメイン競技場第 4 コーナー(100m スタート)付近に設ける。
- (2) 種目別の招集開始・完了時刻は、プログラムの競技日程に記載している。
- (3) 招集の方法については、次の通りである。
 - ① 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・競技用靴のスパイクピンおよび靴底の厚さ・競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ類の商標の点検を受ける。トラック競技のみ腰ナンバー標識（2 枚）を受け取る。
 - ② 携帯電話等、競技規則第 144 条 3（b）に関わる機器を持ち込んでないか確認を受ける。
 - ③ 代理人による最終点呼は認めない。2 種目同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が、TIC に用意した「2 種目同時出場届」に記入し、1 種目目の招集時に招集所へ提出する。
 - ④ 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権したものと見なされ出場できない。

4 アスリートビブスについて

- (1) 選手受付をメイン競技場正面玄関付近に設ける。
- (2) アスリートビブスは 3 枚配布する。（胸・背・手荷物用）（競技規則第 143 条 7,8 を厳守）
- (3) アスリートビブスと ID カード・プログラムの配布については、次の時間帯に、選手受付で行う。

・ 9 月 30 日（水）	10:15～16:30	・ 10 月 1 日（木）	10:15～18:00
・ 10 月 2 日（金）	10:15～18:00	・ 10 月 3 日（土）	10:15～12:00

5 競技場内への入場について

- (1) 招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
- (2) 競技終了後は、競技役員の指示に従いミックスゾーンと PECCR（ポスト・イベント・コントロール・

ルーム)を通り退場する。なお、決勝において1～3位の競技者を、入賞者控室に誘導する。

6 競技の抽選、及び番組編成について(レーン順・試技順)

- (1) トラック競技の予選のレーン順・フィールド競技の試技順は、スタートリストに記載した順(欠場者を除いた競技者により大会前日のプログラム編成で決定)による。決定されたレーン順・試技順は、前日17時までに日本陸連公式WEBサイトの日本選手権大会ページに掲載する。
- (2) トラック競技の準決勝以降の組み合わせ、及びそのレーン順は日本陸連公式WEBサイトの日本選手権大会ページに掲載する。
- (3) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、最終枠に同記録があるときの処置は、写真判定主任が0.001秒単位の時間を判定して出場者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。(競技規則第167条2)

7 競技について

- (1) トラック競技について
 - ① トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。
 - ② レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
 - ③ 短距離種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走る。
 - ④ 競技規則第162条7により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
- (2) フィールド競技について
 - ① 投てき競技の計測は、すべて光波距離計測器を使用する。
 - ② 跳躍、及びやり投の競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)に主催者が準備したもの、または承認したマーカーを2個まで使用することができる。また、サークルで行う投てき競技は、マーカーを1つだけサークルの外側に使用することができる。
 - ③ 棒高跳の競技者は「棒高跳支柱移動届」をTICで受け取り、自分の希望する支柱の位置を記入し、招集開始時に招集所に提出する。その後、位置を変更したい場合は担当競技役員に申し出る。
 - ④ 三段跳の踏切板は、砂場から男子13m、女子11mの地点に設置する。
 - ⑤ フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
 - ⑥ フィールド競技が行われる近接のスタンドに「コーチ席」を設ける。
- (3) 競技者はビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話、もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。また、競技場内に持ち込まれるバックの中身は招集所で確認される。
- (4) 競技者は勝手に競技場所を離れることはできない(競技規則第144条3(b)・4)。
- (5) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技会から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。
- (6) 欠場する競技者は、本選手権大会規定の「欠場届」(TICにも用意)に必要な事項を記入し、次の要領で届けること。届けずに欠場した者は、その後の本連盟、加入団体主催または後援する競技会に出場を認めない処置を講ずることがある
 - ① 大会第1日目【10月1日(木)】に出場種目がある競技者が欠場する場合は、9月29日(火)の12時までに、下記の届け出先までFAXで届け出る。
 - ② 大会第2日目【10月2日(金)】に出場種目がある競技者が欠場する場合は、10月1日(木)の12時までに、下記の届け出先までFAXで届け出る。
 - ③ 大会第3日目【10月3日(土)】に出場種目がある競技者が欠場する場合は、10月2日(金)の12時までに、下記の届け出先までFAXで届け出る。

《届け出先: 3 日間共》 新潟陸上競技協会 FAX 025-257-7691

- ④ 大会第1日目以降の欠場届は、TIC でも受け付ける。
- ⑤ スタートリスト発表後に欠場する場合は、理由を明確に記載し早急に欠場届を TIC に提出すること。

8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする。(ただし、天候等の状況により変更することもある。)

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降
走高跳	男子	2m00 2m10	2m05	2m10	2m15	2m20	2m24	2m27	2m30	2m33	2m36	2cm
	女子	1m60 1m70	1m65	1m70	1m75	1m78	1m81	1m84	1m87	1m90	1m93	3cm
種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降
棒高跳	男子	任意の 高さ	5m10	5m30	5m40	5m50	5m60	5m70	5m80	5m85	5m90	5cm
	女子	任意の 高さ	3m60	3m80	3m90	4m00	4m10	4m20	4m25	4m30	4m35	5cm

(2) 棒高跳の公式練習について

- ① 棒高跳に出場する競技者は、招集完了時刻（競技開始100分前）以前には競技場所には入場できない。
- ② 公式練習はゴムバーで行う
- ③ 任意の高さ、及び棒高跳支柱の位置で試技順に2回行う。
- ④ 棒高跳の練習については、補助競技場ではなくメイン競技場バックストレート位置で行う。練習時間については別紙練習会場計画を確認のこと。

9 競技用具について

棒高跳用ポール以外、競技に使用する用具は主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、投てき用具リストに複数本ないもの（日本陸上競技連盟検定品に限る）は、持ち込みを一人2つまで認めるので、希望者は各招集完了時刻の120分前までに、持ち込む投てき用具とともに「投てき用具検査申請書」を TIC に持参すること。受け付けた「投てき用具」については「預かり証」を発行する。検査に合格した「投てき用具」については、一括借り上げし、すべての競技者が使用できなければならない。投てき用具は競技終了後に TIC で「預かり証」を確認のうえ返却する。

10 競技用靴について（競技規則第 143 条 2.3.4.5.6 および WA 規則再改定を参照）

スパイクピンの長さは、9mm 以内。走高跳・やり投は12mm 以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。

競技用靴についてはWAの新規定が適用される。靴底の厚さは、800m未満の種目は20mm、800m以上の種目は25mmまでとする。詳細については別紙記載する。

11 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は大型スクリーンおよびアナウンスで行う。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、競技規則第 146 条に定められている時間内(同一日に次ラウンドが行われる場合にはアナウンス後15分以内、それ以外は30分以内)に、競技者自身または代理人

が、TIC を通じて審判長に対して口頭で行い、控室で裁定を聞く。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通じてジュリーに文書で申し出る。

12 表彰について

- (1) 各種目の1位から3位までの競技者の表彰は、正面スタンド前の表彰台で行う。
- (2) 各種目の1位の競技者には、カップと賞状とメダルを、2位・3位の競技者には賞状とメダルを授与する。4位から8位の競技者には賞状を授与する。
- (3) 4位から8位までに入賞した競技者にはTICで賞状を渡す。
- (4) 最優秀選手男女各1名を表彰する。

13 ドーピングコントロールテストについて

(1) ドーピングコントロール

ワールドアスレティックス アンチ・ドーピング規則及び規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規定に基づいて行われる。本大会の前もしくは後のドーピング検査で、尿又は血液(或は両方)の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。日本陸上競技連盟に登録していない競技者も同様に従うこと。尚、競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。

(2) TUE 申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は”治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会ホームページ(<http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>)又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ(<http://www.playtruejapan.org/>)を確認すること。

(3) 18歳未満の競技者の親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得

世界アンチ・ドーピング規定、同国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規定により、18歳未満の競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得することが必要となる。

- ① 本大会に参加する18歳未満の競技者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持参し、携帯すること。同意書は<http://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdf>からダウンロード出来る。
- ② 18歳未満の競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にてNFR(陸連医事代表)に提出すること。提出は、未成年時に1回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みであることをNFRに申し出ること。会場において、原本の提出がなくとも、検査は行われるが、検査後7日以内に日本陸連事務局に原本を提出すること。

14 一般注意事項

- (1) 競技場内で着用するウェアや持ち込むバック等に表示されている商標は、「競技会における広告及び展示物に関する規程」に示すサイズ・個数を超えてはならない。これに違反したものについては主催者で処置する。
- (2) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。
- (3) 競技会での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (4) 選手控所/休憩場所はメイン競技場北側、補助競技場方面のゲートからあがったコンコースを利用すること。
- (5) メイン競技場バックスタンド下の雨天練習場は練習時のみ使用すること。選手控え所を常時雨天練習場に常設することは認めない。
- (6) 更衣用テントは雨天練習場に設けるのでそちらを利用すること。更衣用テントは更衣のみに使用し、

荷物は各自で管理する。

- (7) 大会期間中の貴重品の管理は各自で行う。盗難にあってもその責任は負わない。
- (8) 届けられた遺失物については TIC で保管する。保管期間は10月3日(土)競技会終了までとする。
それ以降はデンカビッグスワンスタジアム管理事務所に連絡すること。(025-287-8811)
- (9) 記録は日本陸連公式 WEB サイトの日本選手権大会ページに掲載する。
- (10) 「記録証明書」を希望する競技者は、TIC に500円を添えて申し込むこと。
- (11) スタンドを含む競技場内での横断幕・応援用のぼり・旗等の固定は禁止する。また、応援において、まわりの観客の皆様へ応援グッズを配布することを禁止する。応援グッズに選手所属企業名(スポンサー名)の露出をすることを禁止する。(ただし、本大会スポンサーはその限りではない)
- (12) 送付された棒高跳用ポールの受け渡しは、TIC で指示する。また、本連盟申込の棒高跳用ポールの配送料は、TIC で支払うこと。
- (13) 競技者及びチームスタッフには、受付時に大会主催者申し合わせ事項により、IDカードが渡される。チームスタッフIDカードについては、参加者1名は2枚、2名から3名は3枚、4名から5名は4枚、6名から9名は5枚とし、以後参加者が4名増えるごとに1枚追加して配布する。IDカードで行動できる範囲は、デンカビッグスワンスタジアム観客席(一般観客席を除く)・室内練習場・補助競技場とするが、競技者は競技に出場のみ競技場内に入ることができる。IDカード使用者は、場内を移動する場合は必ずIDカードが確認できるよう携帯する。
- (14) 提出書類は、次の通りとする。(用紙はTICに用意)

	提出するもの	提出場所	提出時刻
1	欠場届	TIC	招集完了時刻まで
2	2種目同時出場届	招集所	1種目の招集時
3	投てき用具検査申請書	TIC	招集完了2時間前まで
4	棒高跳支柱移動申告用紙	招集所	招集時
5	上訴申立書(預託金1万円)	TIC	競技規則第146条による
6	記録証明書	TIC	TIC 閉鎖時刻まで

- (15) 荒天により競技を一時中断もしくは延期することがある。
- (16) 下記の通りスポーツドリンクを主催者から参加者に提供する。
なお、補助競技場でのドリンク及び氷の提供は無いため、各自必要な場合は持参すること。
・トラック種目：フィニッシュ後 ・フィールド種目：招集時に一人2本

15 練習会場の使用について(練習会場注意事項)

- (1) 練習時間、練習種目については別紙練習会場計画を確認すること。
- (2) 練習は、各個人が指定された場所・時間で行い、事故防止には万全を期す。なお、練習中に発生した疾病・傷害等については、応急処置は主催者において行うが、以後の責任は問わない。
- (3) 練習に必要な用具は、主催者が準備するが、持参した個人の用具も使用できる。
- (4) 荷物などは、個人が責任を持ち管理する。
- (5) 会場への入退場は、必ずIDカードを明示する。また、コーチは会場において、常にIDカードが確認できるように携帯する。
- (6) 棒高跳の練習については、補助競技場ではなくメイン競技場バックストレート位置で行う。
- (7) 雨天練習場は使用できる。競技役員の指示のもと、安全に十分留意し練習を行うこと。
 - ① 跳躍の助走練習・投てきの助走練習は禁止する。
 - ② 練習場内は、スターティングブロック・ハードル・ミニハードル等の器具の持ち込み、使用は禁止する。
 - ③ スターティングブロック、ハードルの設置については競技日程及び天候等を考慮し競技役員が

設置する。

(8) 補助陸上競技場での練習は次の通りとする。

- ① 競走路の使用は、原則として以下の通りとする。
 - ・ 1～2レーン:中長距離
 - ・ 3～6レーン:短距離（スタートダッシュはホームストレートスタート地点）
 - ・ 7～8レーン:400m ハードル（第1曲走路からバックストレート、及び第2曲走路）
 - ・ 7～8レーン:100m ハードル・110m ハードル（ホームストレート）
- ② 跳躍種目・投てき種目は練習会場使用日程通り、それぞれの種目の練習を行うことができる。記載された時間以外は認めない。担当競技役員の指示のもと、安全に十分留意して行うこと。
- ③ 投てき種目については練習時間が限られるため、練習一覧表を十分確認すること。また、投てき練習の際、必ず監督・コーチ立ち会いのもと安全に十分留意し行うこと。
- ④ 補助陸上競技場インフィールド芝生内への立ち入りを禁止する。（投てき練習を除く）

補助競技場及び本競技場練習場の練習会場計画

		9月30日（水）	10月1日（木）	10月2日（金）	10月3日（土）
補助競技場	トラック	10:30～17:00	10:30～20:00 (17:30～日の入)	10:00～21:00 (17:30～日の入)	10:30～18:30
		1～2レーン：中・長距離			
		3～6レーン：短距離（スタートダッシュはホームストレートスタート地点）			
		7～8レーン：400mH（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）			
		8～9レーン：100mH, 110mH（ホームストレート）			
	走幅跳	男女10:30～17:00	男女 10:30～17:00	男子10:30～17:30	
			女子14：00～16:25（優先）		
	三段跳	女子10:30～13:30	男子10:30～13:30	女子10:30～13:30（優先）	男子10:30～14:15
		男子13:30～17:00	女子13:30～17:00	男子13:30～17:00	
	走高跳 (Bゾーン)	女子11:00～15:00（Bゾーン） 男子15:00～17:00（Bゾーン）	女子10:30～13:45（Bゾーン） 男子14:00～17:00（Bゾーン）	男子10:30～17:00（Bゾーン）	男子10:30～14：20（Bゾーン）
	砲丸投 (Bゾーン)	男女10:30～17:00	女子10:30～14:05		
			男子14:05～17:00		
	やり投 (Aゾーン)	男女13:00～17:00	（助走のみ）		
			（助走のみ）		
	円盤投 (Aゾーン)	（ターンのみ）	（13:00以降ターンのみ）	男女10:00～11:45	練習投てきは招集完了後
	ハンマー投 (Aゾーン)	（ターンのみ）	男女10:30～13:00 （13:00以降ターンのみ）	練習投てきは招集完了後	
本競技場	棒高跳	女子12:30～14:30 男子15:00～17:00	男子10:30～12:30 女子招集完了後以降	男子13:00～	
雨天練習走路			1～2レーン：一方通行で使用（戻る際は、窓側通路を使用する）		
			3～4レーン：中・長距離用およびジョグ用（折り返しての走行可）		
			※練習可能時間は、補助競技場と同じです。跳躍、投てき助走練習不可。器具の持ち込みはできません。		
		9月30日（水）	10月1日（木）	10月2日（金）	10月3日（土）

- ※ 日の入は17時30分です。夜間照明が十分ではないため、練習にはご注意ください。
- ※ 補助競技場 芝生内は、やり投・円盤投・ハンマー投げ以外の選手，コーチ以外の立ち入りを禁止します。
- ※ 投てき練習は、監督・コーチ付き添いのもと安全に配慮し行ってください。
- ※ 当日にある競技を優先とします。
- ※ 本競技場 棒高跳練習は選手・コーチ以外の立ち入りを禁止します。
- ※ 練習に際しては、練習会場系の指示に従ってください。
- ※ 補助競技場は、雷や豪雨等 悪天候の場合は使用を禁止することがあります。

第104回陸上競技選手権大会 投てき用具一覧

器具	種別	メーカー	品名	規格・形状・寸法	品番	個数
砲丸	男子	NISHI	鉄製 7.260kg 129mm	一般男子用 129mm	F251C	2
			鉄製 7.260kg 125.5mm	一般男子用 125.5mm	F251	2
			タングステン 7.260kg 125.5mm	一般男子用 125.5mm	F251	2
			鉄製 7.260kg 120mm	一般男子用 120mm	F252A	2
			タングステン 7.260kg 120mm	一般男子用 120mm	F252A	1
	女子	NISHI	鉄製 4.0kg 109.0mm	女子用 109.0mm	F253C	2
			鉄製 4.0kg 109.0mm	女子用 109.0mm	F253C	1
			鉄製 4.0kg 103.0mm	女子用 103.0mm	F253	2
			鉄製 4.0kg 99.0mm	女子用 99.0mm	F253A	2
円盤	男子	NISHI	スーパーHM 2.0kg	一般男子用 2.0kg (白紫)	F331A	2
		GILL	サターンⅡ 2.0kg	一般男子用 2.0kg	C713	2
			ホーローウッドスター 2.0kg	一般男子用 2.0kg	F715	2
		OTE	ベリーハイモーメント 2.0kg	一般男子用 2.0kg	C751	2
		DENFI	ユルゲンシュルツ 2.0kg	一般男子用 2.0kg	C741	2
	女子	NISHI	スーパー 1.0kg	女子用 1.0kg (白茶)	F303B	2
			スーパーHM 1.0kg	女子用 1.0kg (白紫)	F333A	2
		GILL	サターンⅡ 1.0kg		C714	1
			ホーローウッドスター 1.0kg		C716	1
		DENFI	ユルゲンシュルツ 1.0kg		C742	2
		OTE	ベリーハイモーメント 1.0kg		C752	2
ハンマー	男子	NISHI	タングステン入り 7.260kg	一般男子用 7.260kg (オレンジ)	F201	5
		NISHI	ダグタイル 7.260kg	一般男子用 7.260kg (赤)	F202	5
	女子	NISHI	鉄 4.0kg	一般男子用 4.0kg (ピンク)	F210	5
		NISHI	ダグタイル 4.0kg	一般男子用 4.0kg (水)	F210A	5
やり	男子	NORDIC	チャンピオン 100m	ノルディック 800g (オレンジ)	C762	1
			スーパーエリート 90m	ノルディック 800g (白)	C763	2
			スーパーエリート 80m	ノルディック 800g Flex6.8 (白黒)	C764	2
			エアグライダー 100m	ノルディック 800g	C760	1
			オービット (追い風用)	ノルディック 800g Flex6.6 (青白)	761A	1
		OTE	コンペティション (追い風用)	OTE 800g (赤)	C841	1
			コンペティション (向かい風用)	OTE 800g (シルバー)	C842	1
		NISHI	Hybrid Wing	NISHI 800g (青白)	F456	1
	女子	NISHI	スーパーDR	NISHI 600g (黄)	F463D	2
				NISHI 600g (イエロー／シルバー)	F464E	1
			ロングDR	NISHI 600g (青)	F464D	2
			ミディアムDR	NISHI 600g (アイボリー)	F465D	2
			Hybrid Wing	NISHI 600g (ピンク／ホワイト)	F452	1
		NORDIC	ダイアナ 80m	ノルディック 600 g (黄／ブルーライン)	C771C	1
			ダイアナ 70m	ノルディック 600 g (オレンジ)	C772C	1
				ノルディック 600 g (ピンク)		1
			ダイアナ 60m	ノルディック 600 g (オレンジ)	C773C	1
				ノルディック 600 g (ピンク)		1
			ダイアナ 50m	ノルディック 600 g (ピンク)	C774C	2
		OTE	エクストラ (追い風用)	OTE 600 g (ゴールド)	C852C	1

第 104 回日本陸上競技選手権大会 シューズの規定についての留意点

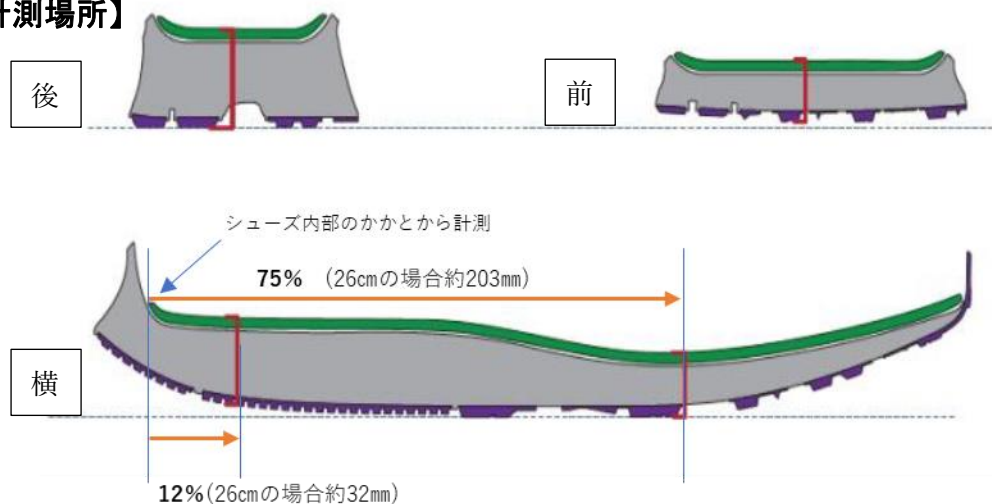
●日本陸上競技選手権大会の競技規則について

本大会は 2020 年ワールドアスレティックス競技規則及び日本陸上競技連盟競技規則により実施する。

シューズ規定については 2020 年 7 月 28 日から有効となった以下のシューズ規程で実施する。

1) シューズ(スパイク、ランニングシューズ含む)の厚さは下記の計測場所となる。

【靴底の計測場所】



※本競技会では、かかとから 12%の部分を計測致します。

【靴底の厚さ】

種 目	ソールの厚さ	補 足
フィールド種目 (三段跳除く)	20mm 以内	全ての投てき種目、高さの跳躍および、三段跳を除く長さの跳躍種目に適用。全てのフィールド種目において、競技者の前の部分の中心点のソール厚さは、競技者のかかとの中心点のソール厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm 以内	競技者の前の部分の中心点のソール厚さは、競技者のかかとの中心点のソール厚さを超えてはならない。
800m 未満のトラック種目 (含むハードル)	20mm 以内	リレーにおいては、各走者の距離で本規則が適用される。
800m 以上のトラック種目	25mm 以内	リレーにおいては、各走者の距離で本規則が適用される。競歩種目ではロード種目と同様とする。

※本競技会では、フィールド種目の計測は行いません。

※申込資格記録については、WA 規則適用外の記録も認めることとする。